



Home (ホーム)

稲田学園だより NO. 26
令和2年 1月27日
発行人 校長 八木沼孝夫

教育目標 やさしく かしく たくましく 未来を拓く 稲田の子

【めざす子ども像】

- 思いやりがあり、きまりを守る子ども
- 夢や目標をもって、自ら学び続ける子ども
- 心と体がたくましく、最後までがんばる子ども
- ふるさとを愛し、社会や未来を拓く子ども



学園マスコット
“いなっ子”

2学期学校評価の結果

学校評価保護者アンケート

先日各ご家庭にも配付させていただきましたが、2学期末に行った学校評価に関する保護者アンケート及び学校関係者評価の結果についてお知らせします。

保護者アンケートは、ほとんどの項目で3.4以上の評価の平均値を示しており、さらには多くの項目で1学期よりも平均値が改善されました。

しかし、児童生徒や教職員の反省では、改善すべき点がいくつかあります。また保護者の皆様からも様々なご意見をいただいております。

さらに、学校関係者評価では、学園地域運営協議会委員の皆様、学校経営や学校評価の結果を説明させていただいた後に評価いただきました。

これらの評価結果をしっかりと分析して、今後更なる改善を図って参りたいと思います。



	質問項目	2学期	1学期
教育目標	思いやりの心を大切に、きまりを守って生活する子供を育てる	3.6	3.5
	夢や目標を持って進んで学習に取り組む子供を育てる	3.5	3.4
	心と体を鍛え、最後まで粘り強く活動する子供を育てる	3.4	3.4
	ふるさとを大切に、希望を持って生活しようとする子供を育てる	3.5	3.4
授業の充実	分かりやすい授業に努め、基礎的基本的な学習の定着を図る	3.5	3.4
	児童生徒を理解し、個を大切に指導に努めている	3.4	3.4
	子どもの学習状況について、適切に評価している	3.5	3.4
	子どもの読書活動充実のために取り組んでいる	3.4	3.4
豊かな健康力	体験活動や縦割り班活動等を通して、協調性や思いやりを身につけさせる	3.5	3.5
	児童生徒会活動や学級活動を通して、自主性や実践力を育てる	3.6	3.4
	友達や相手を思いやり、命の尊さ・命を大切にする心を育てる	3.4	3.4
	健康（食育・保健・衛生）教育や体力づくりが進められている	3.4	3.4
保護者地域との連携	サポーター（ボランティア）等を生かした活動に取り組んでいる	3.5	3.4
	学校だより・学年だよりやホームページで情報発信に努めている	3.6	3.6
	保護者や地域住民との意思疎通に努めている	3.4	3.4
	保護者がPTA活動や参観日、学校行事に積極的に参加の工夫	3.5	3.4
組織運営・環境整備	教育目標や教育方針を分かりやすく伝えている	3.5	3.5
	小中一貫教育の充実に向け、創意工夫ある教育活動を行っている	3.4	3.4
	充実した学習生活のために施設設備面での環境整備を十分に行う	3.4	3.4
	緊急時や非常時の対応について、保護者等と協力し子どもの安全に配慮	3.6	3.5

*太字の数値は1学期を上回った項目

学校評価学校関係者評価

質問項目	平均値
地域運営協議会等を計画的に実施し、小中一貫教育を推進している	4.0
児童生徒の安全安心を第一に考え、健康・安全に関する基本的な生活習慣の育成、定着を図る取り組みをしている	3.8
個に応じた支援計画に基づいて共通理解を図り、特別支援教育の充実に取り組んでいる	3.8
自他を思いやる児童生徒を育成するために、共通理解のもと道徳教育の充実に取り組んでいる	3.5
「わかるできる授業」をめざし、授業の質的改善と学力向上に取り組んでいる	3.5
児童生徒にめあてを持たせながら運動に取り組ませ、体力と運動技能の向上を図っている	3.7
授業研究会等を通して、授業改善に積極的に取り組み、資質向上に取り組んでいる	3.6
児童生徒や保護者への適切な対応に努め、信頼される学校づくりを目指している	4.0

*4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1：あてはまらない

多くの方々にご支援いただいています

○和楽器体験教室

1月16日(木) 5・6校時 6年生を対象に「和楽器体験教室」を実施しました。3名の講師の先生をお招きし、和楽器である箏(こと)と尺八について説明・指導していただきました。

最初に、講師の先生に「六段の調(しらべ)」を演奏いただき、稲雲ホールに響く箏(こと)と尺八の音色の素晴らしさに、子ども達も体験への意欲を高めていました。その後、箏(こと)と尺八の楽譜の読み方や音の出し方について、講師の先生からご説明いただき、実際に音を出す練習を行いました。

講師の先生に教えていただいたり、友達同士で教え合ったりしながら練習をし、授業が終わるころには箏(こと)で「さくら さくら」を演奏することができるようになったり、音を出すことが難しいといわれる尺八も、講師の先生の優しく丁寧なご指導により、何人もの子ども達が音を出せるようになりました。

講師の先生にはお忙しい中ご指導していただき、ありがとうございました。



「さくら さくら」を演奏



難しい尺八に挑戦

○一輪車教室

昨年末、日本一輪車協会から寄贈いただいた一輪車30台を活用した「一輪車教室」が行われました。講師の先生をお招きし、4日間にわたって1～6年生が2時間ずつ指導をしていただいております。

一輪車教室では、初めに体に合った一輪車の選び方、サドルやタイヤの空気圧の調整の仕方、そして安全な乗り方や練習の仕方について説明していただいた後、実際に一輪車に乗ってみました。ほとんどが初めての一輪車だったので、最初は、サドルに座ることも難しかった子ども達ですが、時間がたつにつれ次第に慣れ、練習用の手すりや壁につかまりながらもペダルを踏んで前に進むこともできるようになりました。

一輪車の練習を通して、調整力やバランス感覚を養い、体力の向上につながれると思います。



指導員の模範演技



手すりにつかまりながら…

○読み聞かせ・運動教室

1月23日(木)、1～6年生の体育科の授業で講師の先生をお招きし、「読み聞かせ・運動教室」を実施しました。

読み聞かせ等によるメンタルセラピー的な「静」と楽しく体を動かす「動」を組み合わせ、心身をリフレッシュさせる活動です。読み聞かせは子ども達の心に響く内容で、自分自身を振り返らせたり、希望や意欲を高めたりする内容となっています。また、ゲームの要素を取り入れた運動を通して、運動技能と体力の向上を図るとともに、コミュニケーション力の育成を目的に実施しています。

この日は、気温が低かったため「動」の活動で体を温めてから読み聞かせをしていただきましたが、子ども達は楽しそうに体を動かし、その後真剣に読み聞かせのお話を聞いていました。



みんなで体を動かします



真剣に読み聞かせを聞く児童

今回の学園だよりは、学校評価や学校サポーターの皆さんによる教育活動について紹介させていただきました。今、学校は「社会に開かれた教育課程」ということで、社会と学校が連携・協働を図りながら、子ども達が社会を担うための資質能力を身に付けるための教育活動が求められています。そこで本校でも、保護者や地域及び関係機関の方々にご協力いただきながら、子ども達により効果的な教育活動を行うために、学校人材バンクを立ち上げて、学校サポーターの方々にご支援をいただいているところです。その結果、子ども達が楽しそうに生き生きと教育活動に参加している姿を見ることができています。これからも多くの方々のご協力をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。